

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	市民の文化力アップ事業「まちに文化の魅力を届けよう！」
事業主体 (連絡先)	NPO 法人サポート C 茅野市塚原一丁目 1-1
事業区分	③教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	423,062 円 (うち支援金 : 315,000 円)

事業内容

NPO 法人サポート C は、茅野市、茅野市民館指定管理者と協働して事業の企画や日々の事業運営にあたり、地域と市民館、暮らしとアートをつなぐことを大切に活動しています。この事業では、市民館という公共施設の事業へのかかわりを通しサポーターが体感した文化の魅力を、自ら地域に発信し、市民主体の活動として継続できるよう、市民の文化力を高めるための講座とワークショップを実施しました。



【情報発信お悩み相談会】

1. 講座「情報発信お悩み相談会」の開催

日時：平成 29 年 8 月 20 日(日)

会場：茅野市民館 アトリエ

講師：今井浩一 (編集・ライティング・広報プラン『engawa』)

参加人数：14 名

チラシや広報紙などの紙媒体や SNS などの WEB 上での、様々な情報発信の基礎マナーを学ぶ講座を開催。SNS などに親しみがない参加者が多かったため、情報発信の方法の基礎知識から学び、参加者の疑問に答える形で進めました。講座実施後は、参加者にサポート C のフェイスブックや茅野市民館友の会会報に掲載するコメントを寄せてもらうなどの働きかけをしています。



【おでかけ演劇講座】

2. ワークショップ「おでかけ演劇講座」の開催

日時：7 月 8 日(土)、9 月 30 日(土)、10 月 28 日(土)、11 月 25 日(土)、1 月 18 日(木)・19 日(金) 全 5 回 6 日間

会場：茅野市民館 アトリエ ほか

※1 月 19 日訪問先・社会福祉法人この街福祉会この街学園(茅野市金沢)

講師：柏木陽(NPO 法人演劇百貨店代表、演劇家)

参加人数：21 名(各回の出席者数 14 名, 10 名, 8 名, 16 名, 10 名・11 名)

市民が自ら劇場のおもしろさを地域の人に伝えられるよう、場所を選ばずどこでも行える小さな演劇のつくり方を学び、実際に地域に出かけて演劇を披露してみるワークショップ(全 5 回 6 日間)を開催しました。絵本や地域の民話など、毎回異なる題材を少人数のグループで体を使って表現、講師からアドバイスをもらい、演劇のつくり方を学びました。また、実際に障害者介護施設を訪問し、講座で創作した演劇を披露しました。



【おでかけ演劇講座】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

①情報発信での注意点、大切にすべきことなど、今更恥ずかしく聞けないことを改めて講師より聞き、情報発信の必要性や大切さも理解でき、人と人の繋がりと同じく真摯な気持ちで取り組めば情報発信も恐れる事ではないと理解しました。サポートCのホームページ作成にまでの参加はつながっていないものの、活動分野ごとのブログに載せる意見などを、個々に寄せてくれるなどの効果を実感しています。個人でのブログ、facebook等の情報発信も、講座を終え以前より活発に行われています。受講者からは講座の継続開催を望む声もありました。

講座参加者：14名

①ワークショップの参加者が全回を通して21名にのぼり、最終回のおでかけ演劇実施には「おでかけ隊」メンバー以外の市民が3名参加体験でき、今後の活動につながりました。演劇の創作方法も、講師のアドバイスを受け、以前から経験のある“絵本を素材に演劇にする”ものから始め、最終では『諏訪のでんせつ』といった地元由来のある“物語を演劇にする”までに至り、幅が広がりました。

また、おでかけ演劇の訪問先はワークショップ参加者が依頼をし、初めて訪問する施設で「おでかけ隊」の名前や活動を知ってもらう機会になりました。利用者さんや職員の方々に演劇の楽しさを届けることができ「また来て欲しい」と言っていただきました。新たな関係作りとこれからの活動の継続の弾みとなりました。

ワークショップ参加者：21名

【目標・ねらい】

- ①文化事業や文化活動に関する情報発信をする市民の増加
目標：講座参加者.30名
- ②地域に劇場のおもしろさ・魅力を届ける活動に参加する市民の増加とスキルアップ
目標：ワークショップ参加者15名

※自己評価【A】

【理由】

- ①「情報発信お悩み相談会」の参加者の中には、講座参加をきっかけにフェイスブックを閲覧するようになったり、市民館の情報をシェアするなど活用する人も出てきました。
- ②「おでかけ隊」で従来から活動するメンバー以外に、12名の新たな市民の参加がありました。市民館で演劇ワークショップに長くかかわり「おでかけ隊」が活動を始めるまでの経緯を知っている講師を迎えられたことで、年間を通して活動内容の幅が広がり、市民の演劇への興味関心が広がりました。また、おでかけ演劇で訪問した施設でも好評で、再訪の要望をもらい、今後の活動につながることができました。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

「情報発信お悩み相談会」の受講者には、市民目線での情報発信ができるよう、フェイスブックや情報紙など発信の場と機会を提供し、実践を呼び掛けていきます。あわせて地域の特性などここでの効果的な情報発信のあり方を探りながら、取り組みを考えていきたいと考えます。

「おでかけ演劇講座」では、講師より人それぞれの“柄”をどう生かして見せていくのか、舞台上で失敗するのが面白いなど演劇作りの上でより踏み込んだアドバイスをいただきました。参加者からも次はミュージカルに挑戦したい等意欲的な声もあがり、今までの講座の積み重ねから、市民の演劇への興味関心が深まってきていることを実感しています。今後もこのおでかけ演劇の活動を継続していき、地域と劇場のつながりを広げていきたいと考えます。

今後も引き続き、文化事業や文化活動に関する情報の発信を実践する市民、文化芸術の魅力を広げ繋げていける市民が増加するよう、市民主体の地域活動が発展するよう、実践の場の創出や講座の開催などを通し、個人スキルの向上に努めたいと考えます。